



健康診断 のお知らせ



令和8年

10月5日(月)

午後の部のみ

6日(火) 7日(水) 8日(木)

午前の部・午後の部

午前の部 8:30～11:15 午後の部 13:30～15:45

実施会場
近江八幡商工会議所

検査機関 (検査の内容に関するお問い合わせはこちら)
一般財団法人 滋賀保健研究センター TEL 077-587-3588

定期健康診断 (定員400名) 1名あたり **7,700円** (税込)
通常価格9,900円 (税込)

- * 問診、身長、体重、視力、色覚、血圧、腹囲、各測定
- * 胸部X線撮影 * 内科診察 * 尿検査
- * 心電図検査 * 聴力検査 * 血液検査

生活習慣病健診 (定員180名) 1名あたり **14,700円** (税込)
通常価格19,860円 (税込)

- * 上記定期健康診断検査項目
- * 胃部X線撮影 * 眼底検査 * 血液検査 * 大腸検査

【申込方法】

近江八幡商工会議所HP (<https://8cci.com/>) にパソコンからアクセスいただき、
カテゴリ【保険・共済】→【健康診断】 <WEB申込フォームはこちら> より
お申込みください。

※受診料は前払いです。

※5営業日以内にメールにて支払方法、受診日時等をご案内いたします。

申込締切：8月21日(金)

オプション検査のご案内

今年度も定期健康診断と同時に
血液のオプション検査
をご準備致しました！

ガンが気になる方

腫瘍マーカーAセット
(CEA, CA19-9
AFP, CYFRA)

特に50歳以上
の男性には

前立腺検査(PSA)

特に女性には

マーカー女性Aセット
(SCC-CA125-CA15-5)

胃がんが気になる方

胃がんリスク
層別化検査



機能別名	項目	臨床的意義	価格
腫瘍マーカーAセット	*CEA (癌胎児性抗原)	ガンのスクリーニング検査として広く用いられています。主に結腸ガン、胃ガン、膵ガン、肺ガンなどの発見の手がかりとなります。	③Aセット ¥6,200
	*CA19-9	主に膵ガン、胆のう・胆管ガンなどの消化器ガンの発見の手がかりとなります。	
	*AFP	主に肝ガンの腫瘍マーカーとして用いられていますが、肝炎や肝硬変の指標としても用いられます。	
	*CYFRA (シフラ)	主に肺がんのうち扁平上皮がん、腺がんなどの非小細胞がんの特異性が高く、なかでも扁平上皮がんの早期発見に役立ちます。	
前立腺検査	*PSA	前立腺肥大・ガンの検査は血液中のPSA(前立腺特異抗原)の測定により簡単に実施でき、早期発見に役立ちます。(特に50歳以上の男性に有効です)	④前立腺検査 ¥2,000
腫瘍マーカー女性Aセット	*SCC	主に子宮頸部、肺、食道等の扁平上皮がんの高い陽性率を示し、早期発見の手がかりとなります。	⑤女性Aセット ¥4,500
	*CA125	主に卵巣ガンに対して特異性があります。但し、妊娠時や月経期にも一過性に上昇します。但し、妊娠時や月経期にも一過性に上昇します。(※生理中・妊娠中・産後は数値が上がる為、検査不能です。ご注意ください。)	
	*CA15-3	主に進行・再発乳ガンに特異性が高く、乳がん検診における一つの指標として用いられます。	
胃がんリスク層別化検査 (ABC分類)	ペプシノゲン検査 (PG-LA)	血液検査で行える、胃がん発生のリスク検診です。胃粘膜の萎縮マーカーであるペプシノゲンと、胃がんと関係が強いといわれているヘリコバクターピロリ菌感染検査を併用し、胃がんリスクに応じて4群(ABCD分類)に分類し、胃がんリスクを判定する検査です。*	⑥胃がんリスク ¥3,800
	ヘリコバクター ピロリ菌 (抗H・ピロリ抗体)	【ペプシノゲン】血液中に微量に存在するペプシノゲンという蛋白質を測定し、胃粘膜の萎縮度合を検査します。萎縮度合の高い人は、胃ガンになり易いといわれています。 【ヘリコバクターピロリ菌】日本人の50歳以上の70~80%がピロリ菌に感染しているといわれています。ピロリ菌が胃壁に取り付くと、胃炎や消化性潰瘍を発症させる要因となります。	

※ 注意

- 各オプション検査は、**すべてセットでのご受診**となります。
- 各オプション検査は、**定期健康診断・生活習慣病健診と同時でのご受診**に限ります。
- 表示金額はすべて税込金額です。
- 胃がんリスク層別化検査を受診される場合、胃の手術を受けられた方、治療中の方、ピロリ菌の除去をされた方、自覚症状のある方は、正確に判定されない事があります。**